

目 次

ご利用前に

安全上のご注意	2~3
各部の名称	4
使い方	5

使い方について

お湯の沸かしかた	6~7
お湯の注ぎかた	8

お手入れについて

お手入れのしかた	9~10
----------------	------

その他

Q&A	11
故障かなと思ったら	11
仕様	11
アフターサービス	12
保証書	13

家庭用

保証書付

電気ケトル

MKT10SR01

取扱説明書



この度は、MAXZEN 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を安心してお使いいただくために、ご使用になる前、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は、大切に保管していただき、不明点がある場合にご活用ください。

安全上のご注意

本製品の性能を十分に発揮させ、安全にご利用いただくためにも、「安全上のご注意」をお読みになってから、取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示の説明

 **警告** 「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

 **注意** 「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

 中の絵と近くで文で、してはいけないこと（禁止）を示します。

 中の絵と近くで文で、しなければならないこと（指示）を示します。

※重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
※損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

警告

 禁止	● 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因となります。	 分解禁止	● 改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
 指示	● この製品の使用において、補助が必要な方や子供単独では使用しない。 必ずこの製品の安全な使い方を理解した監視・監督者または、介護者の補助のもと使用する。 けが・やけど・感電・火災の原因になります。 ※この製品は上記のような方が一人で使用することを意図しておりません。	 禁止	● ケトル本体や電源プレートを落としたり、衝撃を加えたりしない 感電・故障の原因となります。
 禁止	● 子供に製品で遊ばせない。 けが・やけど・感電・火災の原因になります。	 禁止	● 水以外のものを入れたり、沸かししたりしない 湯沸かし以外の目的では使用しないでください。 牛乳・紅茶・酒・スープなどを入れて使うと、泡立って内容物がふき出し、やけど・感電・けがの原因となります。 また、内部の汚れ・焦げつき・故障の原因になります。
 接触禁止	● 注ぎ口に触ったり、手や顔を近づけない やけどの原因となります。特に乳幼児や子供に触れさせないようにご注意ください。	 禁止	● 直火（ガス台など）や電気ヒーター、電磁調理器プレートなどの上に載せない 火災・熱による変色・変形・故障の原因となります。
 水ぬれ禁止	● ケトル本体の底面や電源プレートを水につけたり、水をかけたりしない。 ショート・感電の原因となります。	 禁止	● ケトル本体の底面接続部・電源プレート接続部にピンなどの金属片やごみを付着させない 感電・ショート・発火の原因となります。
 禁止	● 満水目盛り(MAX)以上の水を入れない お湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因になります。 水を入れすぎると熱湯が飛び出すおそれがあります。 水位を超えて入れないでください。	 禁止	● 氷を入れない 冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障の原因となります。
 禁止	● ふたを開けたまま湯沸かしをしない 湯沸かし中は、必ずふたを閉めてください。ふたを開けたまま使用するとお湯が流れ出て、やけど・感電・けがの原因になります。	 禁止	

警告

 禁止 ● 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したり、ものをのせたり、挟み込んだり、高温部に近づけたりしない。 火災・感電の原因となります。	 指示 ● 電源コードが破損した場合や、異常・故障時にはすぐに使用を中止する。 火災・感電・けがの原因となります。 すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。 《異常・故障例》 ・コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・いつもより異常に熱くなったりコゲくさいにおいがする。 ・製品にふれるとビリビリする。 ・本体や電源プレートが割れている。
 禁止 ● お手入れするときは、電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。 感電の原因となります。	
 ぬれ手禁止 ● ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電やけがの原因となります。	 指示 ● 定格15A以上のコンセントを単独で使用する。 他の器具と併用するとコンセント部が発火の原因となります。
 禁止 ● AC100V以外では使用しない。 火災・感電の原因となります。	 指示 ● 電源プラグを乳幼児が誤ってなめないように注意する。 感電やけがの原因となります。
 禁止 ● 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因となります。	 指示 ● 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火・発煙の原因となります。

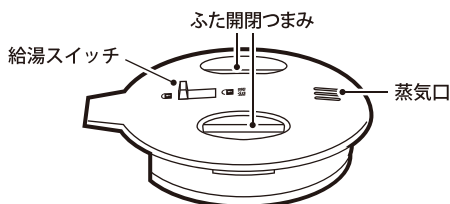
注意

 禁止 ● 不安定な場所や、畳・じゅうたん・テーブルクロスなどの熱に弱いものの上では使用しない。 火災の原因となることがあります。	 禁止 ● 本製品の電源プレート以外には使用しない電源プレートを他の機器に転用しない 発火・故障の原因となります。
 禁止 ● 屋外では使用しない。 本製品は屋内専用です。 一般家庭の台所、また店舗や事務所、ホテルなどそれに相当する場所での使用に限定した商品となります。 ショート・感電・故障の原因となります。	 禁止 ● 湯沸かし中は、本体を移動しない お湯が流れ出たり、蒸気に触れてやけどをする恐れがあります。
 禁止 ● 壁や家具の近くでは使用しない。 蒸気や熱で壁や家具を傷めたり、変色・変形させる原因となります。	 禁止 ● 湯沸かし中は、お湯を注がない お湯がふきこぼれて、やけどをする恐れがあります。
 禁止 ● ガスコンロやストーブなどの高温になる場所・火気のそばでは使用しない 変形・故障の原因となります。	 禁止 ● 空だきをしない 水が入っていない状態で通電すると、故障の原因となります。
 水ぬれ禁止 ● 水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所では使用しない ショート・感電・故障の原因となります。	 指示 ● お手入れは冷めてから行う 高温部に触れて、やけどをする恐れがあります。
 接触禁止 ● 使用中や使用後はしばらくの間、高温部に直接触れない やけどの原因となります。	 プラグを抜く ● 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いておく。 けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

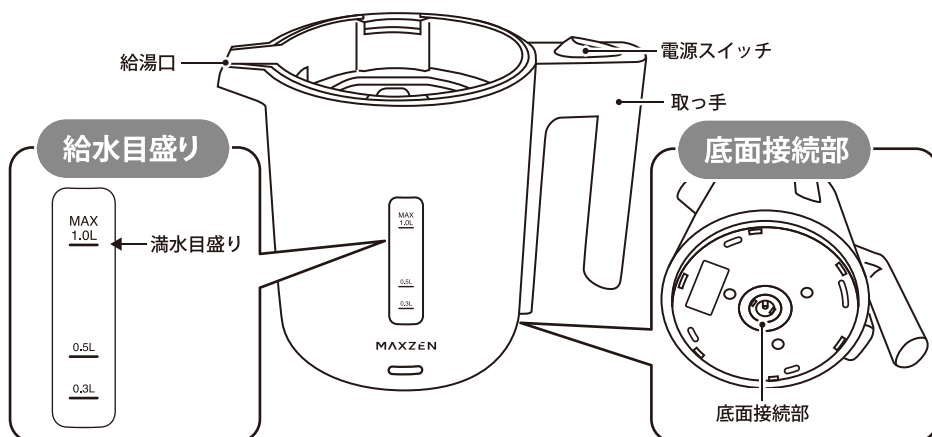
各部の名称

箱から製品を取り出した際に、製品に水が付着している場合がございます。これは、工場出荷時に湯沸かし検査などを行っているためです。初めてお使いになる際は、一度お湯を沸かし、お湯を捨ててからご使用ください。

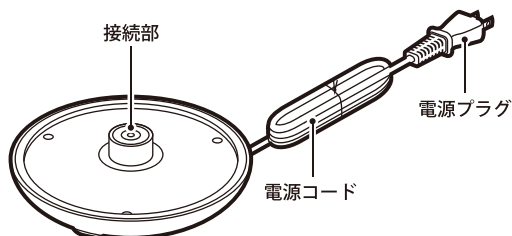
ふた



ケトル本体



電源プレート



電源プレートのはたらき

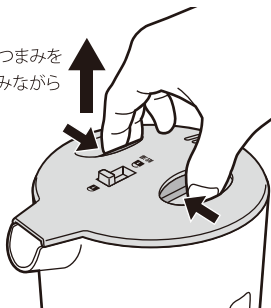
- 本製品はケトル本体と電源プレートのセパレート式になっております。
- 電源を入れないと作動しません。
- 空だきすると、内蔵された空だき防止機能が作動し、自動的に電源が切れます。

使い方

ふたの開閉方法

開け方

ふた開閉つまみを指でつまみながら開けます。



閉め方

給湯スイッチがロック側になっていることを確認し、カチッと音になるまでしっかりふたを押し込みます。

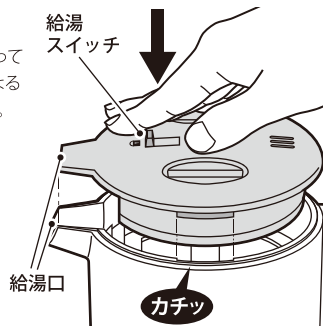
⚠ 注意

- ケトル本体と蓋の給湯口の位置に合わせ、カチッと音がするまで真っ直ぐ上から押し込んでください。斜めに押すと、ずれて閉まりきらない場合があります。

給湯
スイッチ

給湯口

カチッ

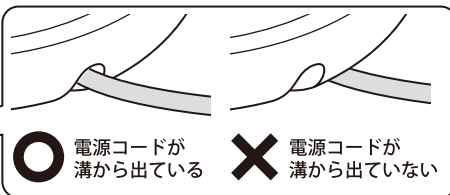
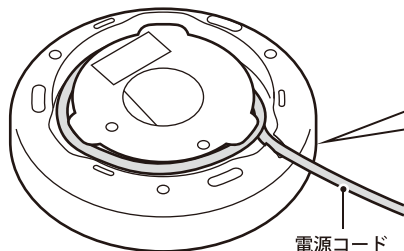


電源コードのセット方法

電源プレートの切り込み部分から電源コードを外に出します。

※電源コードは電源プレートの底面に巻き付けて長さを調整することができます。

※電源コードの全てを収納することはできません。



お湯の沸かし方

1 本体に水を入れる

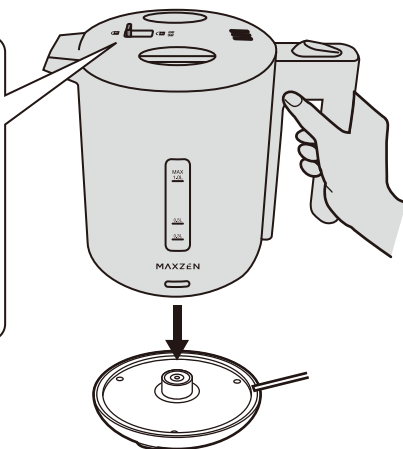


⚠ 注意

- 蛇口から直接水を入れしないでください。
- ケトル本体に水を入れる時は、ケトル本体の外側・底面に水がかからないように注意してください。
- 電源プレートにケトル本体を載せた状態のままで水を入れしないでください。
- 流し台などの濡れた場所に置かないでください。底面が濡れて故障の原因となります。
- 満水目盛り(MAX)以上の水を入れしないでください。ふきこぼれる恐れがあります。
- 空だきをしないでください。故障の原因となります。

2 ふたを開め、電源プレートにケトル本体をセットする

カチッと音になるまでしっかりふたを押し込み、給湯スイッチがロック側になっていることを確認します。

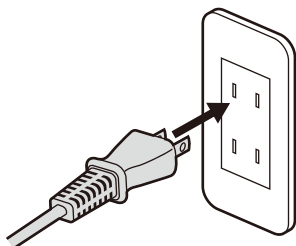


⚠ 注意

- ふたがしっかりと閉まっていることを確認してください。ふたが閉まっていないと、お湯が沸いても電源がOFFにならないことがあります。
- ケトル本体の電源ボタンがOFFになっていることを確認してください。
- 電源プレートは、清潔で平らな場所に置いてください。
- 付属の電源プレート以外は使用しないでください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プレートの電源プラグをコンセントに差し込みます。



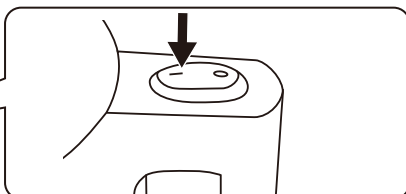
⚠ 注意

- 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱により、火災・故障の原因となります。

4 電源を入れる

ケトル本体の電源スイッチの「I」マークを押し、電源をONにします。

電源スイッチが点灯し、湯沸かしが始まります。



空だき防止機能

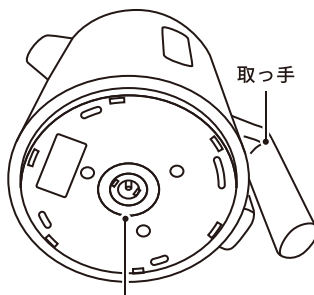
ケトル本体に水が入っていない状態で電源をONにすると、空だき防止機能が作動し、自動的に電源をOFFにします。

湯沸かしを中止したい場合

電源スイッチの下部「O」マークを押し、電源をOFFにします。

⚠ 注意

- 湯沸かし中は、絶対にふたを開けたり、蒸気や注ぎ口に手や顔を近づけたりしないでください。やけどをする恐れがあります。
- 湯沸かし中や沸騰直後は、取っ手を含めて、ケトル本体が高温になっている場合があります。ご注意ください。
- 湯沸かし中や沸騰直後は、ケトル本体の底面の接続部には絶対に触れないでください。非常に高温になっており、やけどをする恐れがあります。
- やけどをする恐れがありますので、下記の事項を守ってください。
 - ・注ぎ口に布きんをかけない
 - ・電源スイッチ点灯中はふたを開けない
 - ・湯沸かし中はお湯を注がない
 - ・湯沸かし中はケトル本体を移動しない



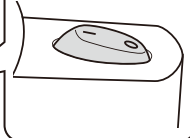
底面接続部

湯沸かし完了後

湯沸かしが完了すると自動的に電源がOFFになり、電源スイッチが消灯します。

※保温機能はありません。

自動で電源がOFF
になり消灯



沸騰時間の目安

満水時(1.0L)	約7分00秒
コーヒー1杯分(140ml)	約1分30秒

※沸騰時間は、水温・室温により異なります。

- 湯沸かしが完了し、電源がOFFになった直後に電源を入れ続け、沸騰を無理に継続させないでください。蒸気ももれてやけどをする恐れがあります。
- 湯沸かし完了後は電源プラグをコンセントから抜いてください。乳幼児や子どもに触れさせないでください。感電・けが・やけどの原因となります。

お湯の注ぎかた

湯沸かしが完了し、電源がOFFになっていることを確認して、お湯を注ぎます。

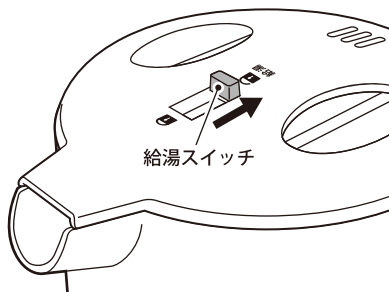
⚠ 注意

- 電源がOFFになっていることを確認してから注いでください。
- 沸騰直後にふたを開けないでください。やけどをする恐れがあります。
- 湯沸かし中や沸騰直後は、ケトル本体や底面接続部には絶対にさわらないでください。非常に高温になっており、やけどをする恐れがあります。取っ手も高温になっていることがありますので、注意してください。

1 給湯スイッチを給湯側にスライドします。

⚠ 注意

- 必ず電源がOFFになっていることを確認してください。

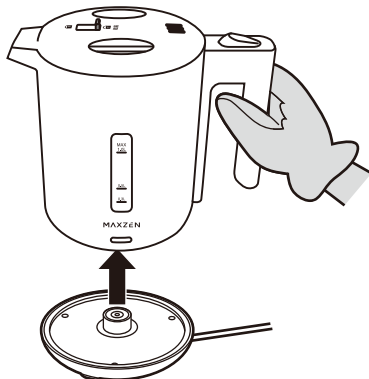


2 電源プレートからケトル本体を取り外す

取っ手を持って本体を持ち上げます。

⚠ 注意

- ケトル本体は非常に高温になっていますのでご注意ください。ミトンの着用をお勧めします。



3 お湯を注ぐ

⚠ 注意

- ケトル本体の取っ手以外の部分には触れないでください。非常に高温になっており、やけどをする恐れがあります。
- 一気に大きく傾けて注がないでください。やけどをする恐れがあります。
- 余ったお湯は全て捨てて、ケトル本体にお湯を残さないでください。本体内部の変色やにおいの原因になります。



4 本体を電源プレートに戻す

⚠ 注意

- 使用後しばらくすると、「カチン」と音がなることがあります。これはプラスチックや金属の部分が冷める時に発生する音で、製品の異常ではありません。
- 本製品は蒸気を感じて電源が切れる仕組みになっています。この蒸気が取っ手の下から水流となって垂れることがありますが、製品の異常ではありません。また、この水滴が故障の原因になることはありませんので安心してご使用ください。

お手入れのしかた

⚠ 注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- ケトル本体が十分に冷めてからお手入れしてください。やけどをする恐れがあります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使用しないでください。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤・シンナー・ベンジンは使用しないでください。表面を傷つける恐れがあります。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使用しないでください。表面を傷つける恐れがあります。
- 注ぎ口のフィルターは取り外しできません。

ケトル本体・ふた・電源プレートのプラスチック部分

柔らかい布でふきます。汚れがひどい場合は、固く絞った布に中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

⚠ 注意

- 直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。

底面接続部・電源プレート接続部

乾いた柔らかい布でふきます。

⚠ 注意

- 直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。

ケトル本体内部

使用を繰り返すと、水に含まれるミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)がケトル本体の内部に付着します。

- 虹色・黒色・乳白色などの変色
- 赤さび状の斑点
- 白い膜状の浮遊物

など、水アカと言われるものが発生します。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行なって汚れを取り除いてください。
※ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用すると、ミネラル成分が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行なってください。

通常のお手入れ

水でよくすすぎます。その後、自然乾燥でよく乾かします。

クエン酸洗浄(汚れがひどいとき)

1. 水を満水目盛り(MAX)まで入れ、クエン酸(50g程度)を入れてかき混ぜます。
2. ふたを閉め、電源スイッチをONにして沸騰させます。その後、約1時間放置します。
3. お湯を捨て、水でよくすすぎます。汚れが残っているときは、柔らかいスポンジでこすり落とします。
4. クエン酸の匂いが気になるときは、水を満水目盛り(MAX)まで入れて再度沸騰させ、お湯を捨てて水でよくすすぎます。

お手入れのしかた

ふたパッキン

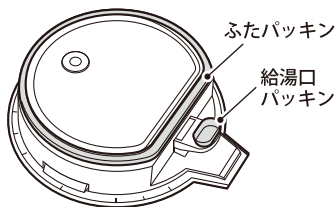
パッキンが変色、または劣化した場合は、傾けや転倒時にお湯が漏れてやけどや故障の原因となります。

ふたパッキン、給湯口パッキンに交換が必要な場合や、交換しても蒸気漏れ・吹きこぼれがある場合は、マクスゼンテクニカルセンターへご連絡ください。

交換用パッキン ふたパッキン: MKT10SR-LPK 給湯口パッキン: MKT-SR-SPK

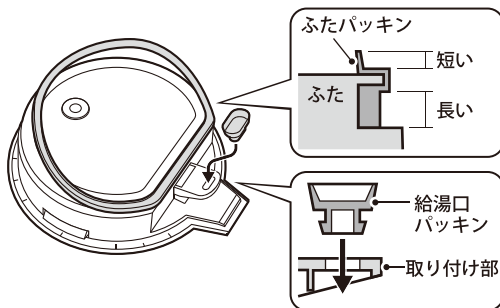
ふたパッキン・給湯口パッキンの取り外し(洗浄)

ケトル本体からふたを取り外し、ふたにはめ込んであるパッキンと給湯口パッキンを取り外し、よく洗浄します。



ふたパッキン・給湯口パッキンの取り付け

ふたパッキンと給湯口パッキンをもとの場所に取り付けます。



ふたパッキン・給湯口パッキンの取り付け確認

⚠ 注意

- ふたパッキンを外したまま使用しないでください。やけど・けが・事故の原因になります。

取り付け後、すき間がないか、ふたの外周で外れているところがないか、

ふたがきちんと閉まるか確認してください。ふたパッキン・給湯口パッキンを

取り付け後に蒸気もれる場合は、もう一度説明をよく読み、取り付け直してください。

ケトル本体の洗浄方法

本製品をはじめてご使用になる場合や、しばらく使用していなかった場合は、ケトル本体の内部にほこりやゴミなどが付着している可能性があります。以下の手順でケトル本体の内部を洗浄してからご使用ください。

1 満水目盛り(MAX)まで水を入れ、お湯を沸かす

お湯の沸かし方は6ページ「お湯の沸かし方」をご確認ください。

2 沸騰したら、お湯を捨てる

⚠ 注意

- お湯を捨てるときは、必ず、ケトル本体の電源がOFFになっていることを確認してください。
- お湯を捨てるときに、ケトル本体およびケトル本体底面・電源プレートの接続部に手を触れないようにご注意ください。沸騰直後は高温になっており、やけどをする恐れがあります。

3 水を入れて1～2回すすぐ

その他

Q&A

質問	回答
水以外のものを入れてもいいですか？	水以外のものは入れないでください。内容物がふき出してやけどをしたり、故障の原因になります。
お湯は毎日変えないといけませんか？	余ったお湯は、毎回捨ててください。お湯を入れたままにすると、水アカ付着の原因になります。
保温はできますか？	本製品には保温機能はありません。

故障かなと思ったら

以下のような状態は、故障では無い場合がありますので、修理を依頼される前に一度ご確認ください。
それでも不具合が解消しない場合は、マクセンテクニカルセンター(0570-099-455)にご連絡ください。

状態	確認する場所	対処方法
作動しない 電源スイッチが点灯しない 沸騰前に電源が切れる	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	ケトル本体が電源プレートに正しく載っていますか？	ケトル本体を電源プレートに正しく載せてください。
	電源スイッチがOFF(「I」マークが押されていない状態)になっていませんか？	電源スイッチをON(「O」マークが押された状態)にしてください。
	ケトル本体の底面接続部および電源プレート接続部に金属片やゴミが付着していませんか？	いったん電源プラグをコンセントから抜き、底面接続部や電源プレート接続部に付着している金属片やごみを取り除いてください。
	水が入っていない状態で電源スイッチをONにしていますか？	水が入っていない状態で空だきすると、空だき防止機能が作動して電源が自動的にOFFになります。 いったん本体を電源プレートから外し、ケトル本体が冷めてから水を入れ、お湯を沸かしてください。
沸騰が止まらない	ふたがきちんと閉まっていますか？	「カチッ」と音が鳴るまでふたを上から押し込んで閉めてください。
注ぎ口やふたからお湯がふき出る	満水目盛り(MAX)以上の水を入れていますか？	水は満水目盛り(MAX)以下にしてください。
沸騰中にお湯がもれ出る	ふたのパッキンがきっちりはめ込まれていますか？	溝に合わせてきっちりはめ込んでください。
お湯を沸かすときに「ゴー」という音がする	沸騰によって生じる気泡がはじける音です。故障ではありません。	
お湯が沸くときの音がいつもより大きい	本体内部に水アカなどが付着して汚れていますか？	水アカなどの汚れがひどくなると、お湯が沸くときの音が大きくなります。 クエン酸洗浄を行ってください。
お湯に白い膜状のものが浮遊している	ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用していますか？	水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分によるもので、ケトル本体の内部の腐食や異臭によるものではありません。 ミネラルウォーターやアルカリイオン水など、ミネラル成分が多い水を使用すると、水アカが付着しやすくなります。汚れがひどい場合はクエン酸洗浄を行ってください。
ケトル本体の内部に赤さび上の斑点や紅色などの変色がある	お手入れなしで長期間使用していませんか？	
お湯を沸かすとプラスチック臭がする	使い始めのうちは、ケトル本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがあります。ご使用をつづけると少なくなります。気になる場合は、1～2回湯通ししてからご使用ください。	
取っ手の下から水滴が垂れる	本製品は蒸気を感じて電源が切れる仕組みになっています。この蒸気が取っ手の下から水滴となって垂れることがありますが、故障ではありません。	
電源コード・電源プラグ・電源プレートに損傷が見られる 破損してしまっ	ただちに使用を中止して、マクセンテクニカルセンター(0570-099-455)へご連絡ください。	

仕様

型番	MKT10SR01
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	900W
定格容量	1.0L
電源コードの長さ(約)	0.75 m

本体寸法(約)	約幅230 x 奥行145 x 高さ180 mm (電源プレートを含まない)
	約幅230 x 奥行145 x 高さ205 mm
本体質量(約)	約700g (電源プレートを含まない)
	約900g

※商品の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。
※特定地域(高い山・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。
こうした場所での使用はなるべくお避けください。
※この製品は、日本国内交流100V専用で設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

アフターサービス

基本的な取扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。

www.maxzen.jp

故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず **電源プラグを抜いて**お買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター

TEL.0570-099-455

mail: mtc@maxzen.jp

受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)

○お客様からご提供いただいた個人情報は修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用します。

○利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理について

当社では原則的に出張修理を行っておりません。
センドバック修理となっておりますので 予めご了承ください。

部品について

修理のために 取り外した部品は、特段のお申し出がない限り、
当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準
に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

- 保証期間はご購入日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
(保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください)
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用できると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金について

修理料金は、技術料・部品代・製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行っておりません。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品は 製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。



愛情点検

長年ご使用の電気ケトルの点検をぜひ!

ご使用の際
このような症状は
ありませんか?

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 運転中に異常な音や振動がする
- 製品本体に触れるとビリビリ電気を感ずる
- その他異常や故障がある



ご使用
中 止

故障や事故防止のため
電源プラグを抜いて、必ず
販売店にご相談ください。

電気ケトル 保証書

製品名	電気ケトル	ご購入履歴を印刷していただき本書と一緒に保管してください 保証書のお買い上げ日については商品出荷日となります 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください
製品型番	MKT10SR01	
保証期間	お買い上げ日より 1 年間	
お買い上げ日	年 月 日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
お名前		販売店
ご住所		
電話番号		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効となりません。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品等で無料依頼ができない場合には、マクスゼンテクニカルセンターまでご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷いただき一緒にご提示ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有料修理になります。

- ・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・お買い上げ後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
- ・一般家庭用以外での業務用に使われた場合（本製品は一般家庭用であり業務用ではありません）
- ・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
- ・本書の提示がない場合。
- ・本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
- ・不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
- ・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
- ・オークションで落札された商品の場合。
- ・離島又は離島に準ずる遠隔地への引取修理を行う場合の送料。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This Warranty is valid only in japan.）
5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

- ※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控え）は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので ご了承ください。
- ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、および それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

本書に記載の内容とは異なる方法や目的で使用されますと、保証の対象外となります。
また、生じた損害についても弊社は一切責任を負いません。

memo

memo

MAXZEN

- 本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、無効となりますので必ずご確認ください。
- 本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
- 本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
- 乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター

TEL.0570-099-455

受付時間 9:00-17:00 (土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く)

mail : mtc@maxzen.jp

Copyright ©MAXZEN, Inc ALL Rights Reserved.